

三芳町初の姉妹都市提携。

国際交流で、三芳町を深化。

春談
新対

埼玉県三芳町長
林 伊佐雄

×

マレーシア国ペタリングジャヤ市長
ダト・モハマド・アジジ

2017年12月19日(火)。マレーシア国のペタリングジャヤ市の市長と市議会関係者が三芳町を訪れ、町と姉妹都市提携調印式が行われ、林

町長とアジジ市長との対談も実現しました。

——町とマレーシアの繋がりは？

林：2012年から三芳町では、マ

レーシアのアジア・パシフィック・スマートスクール（APSS）に町内中学生を派遣し、2014年からはAPSSからの親善訪問団を受け入れ、相互交流が始まりました。さらに、2017年9月5日には、親善訪問団の来町に合わせ、役場でAPSSとの国際交流を深めるために協定書を調印し、

友好関係と交流事業の継続の宣言を行うなど、マレーシアとの繋がりは、以前から深いものがあります。——2017年11月には三芳町の伝統芸能「竹間沢里神楽」をペタリングジャヤ市で披露しました。アジジ：そうです。ペタリングジャヤ市（PJ）では、毎年国際的な祭り「PJフェアフォークロア・フィスティバル」を開催しています。市民の皆さんに、三芳町の伝統芸能を観ていただきました。林：アジジ市長、ご覧いただいていたか。アジジ：とても素晴らしく感動しました。マレーシアにはない伝統芸能や日本の文化をこうして交流できることは、ペタリングジャヤ市にとつ



▲12月19日に役場で行われた調印式。

くのでしょうか。

林：今回の姉妹都市提携によって、三芳町はさらなる発展に繋がるものと確信しています。私は以前、JCI（国際青年会議所）の一人としてマレーシアと関わっていました。そのなかでマレーシア人の皆さんの温かさ、優しさに触れました。ですから、三芳町とペタリングジャヤ市の

友情と相互理解、そして両市町の人々とのより良い親善を図ることができるはず。芸術・文化、教育など多くの分野で交流が深化・発展

に繋がることを期待しています。アジジ：三芳町は都心から近く、マレーシアの首都クアラルンプールに隣接するペタリングジャヤ市と似ていると感じています。都心から近いにも関わらず、農業が盛んであることなど、交流を深めていくことでペタリングジャヤ市の発展に繋がると思います。——最後に一言お願いします。林：姉妹都市提携を新たな出発点として今後も幅広く交流を進めていければと思います。アジジ：長年続けてきた交流が今回の締結に繋がりました。これからも引き続き絆を大切に、繋がりを保ちながら、三芳町の文化や歴史をもっと知りたいと思います。



埼玉県三芳町

Miyoshi Town



人口約3万8千人。面積は15.33km²。さつまいもを始め、みよし野菜をブランド化するなど、農業が盛んにも関わらず、立地の良さからベッドタウンとして発展する「トカイナカ」の町。



ペタリングジャヤ市

Petaling Jaya City



マレーシア国のセランゴール州ペタリングジャヤ市。日本との時差は1時間、首都クアラルンプールの衛星都市として発展。人口約80万人。人口は増加の一途を辿っています。



1



2



3

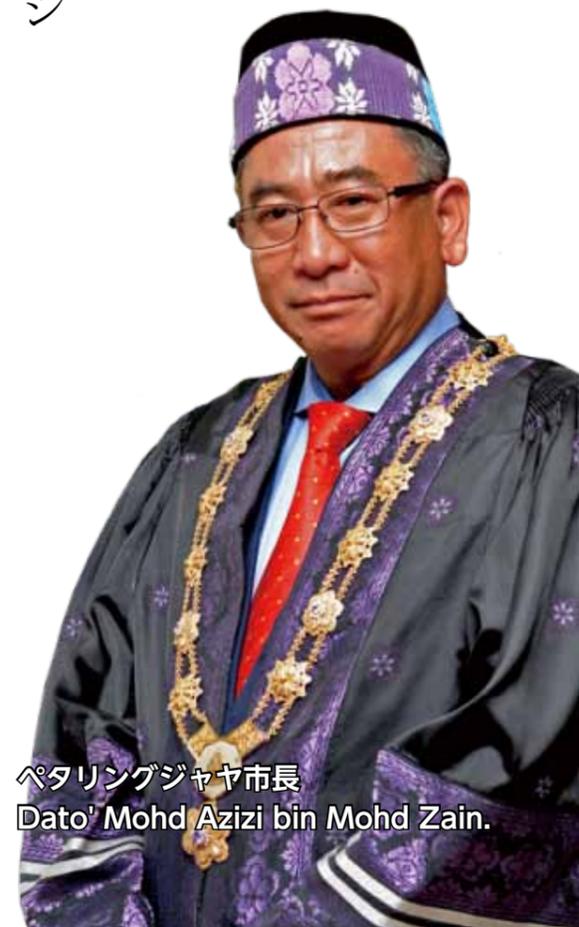


4

1町内の中学生がマレーシアに海外派遣。2PJフェアフォークロア・フィスティバルでの一コマ。手形を残した。3ペタリングジャヤ市を訪問。竹間沢車人形の写真を市長に贈呈。4初の海外公演を行った竹間沢里神楽の皆さんと現地スタッフと一緒に。



三芳町長
林 伊佐雄



ペタリングジャヤ市長
Dato' Mohd Azizi bin Mohd Zain.